

第20回東京免疫フォーラム

20th Molecular Immunology Forum Tokyo

日時: 2011年2月22日(火) 13:00~18:00

場所: 東京大学医科学研究所 講堂

東京都港区白金台4-6-1 <東京メトロ“白金台駅”下車、徒歩5分>

《 挨拶 》 烏山 一 (東京医科歯科大学) 13:00 ~ 13:05

I. T細胞の発達・分化の新たな制御機構 座長: 中島 裕史 (千葉大学)

T細胞系列への運命決定を制御する分子機構 13:05 ~ 13:35

伊川 友活 (理化学研究所・免疫アレルギー科学総合研究センター)

CD4陽性 CD25陰性 LAG3陽性制御性T細胞による免疫応答制御 13:35 ~ 14:05

藤尾 圭志 (東京大学医学部)

転写制御因子 I κ B ζ による Th17細胞分化制御 14:05 ~ 14:35

岡本 一男 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科)

II. 自然免疫の新展開 座長: 高木 智 (国際医療センター)

腫瘍死細胞の貪食による抗腫瘍免疫活性化機構 14:35 ~ 15:05

田中 正人 (理化学研究所・免疫アレルギー科学総合研究センター)

外部寄生虫に対する感染防御反応における好塩基球の役割 15:05 ~ 15:35

和田 剛 (医薬基盤研究所・霊長類医科学研究センター)

< 休 憩 >

III. 公募演題特別講演 座長: 三宅 健介 (東京大学)

M1マクロファージの浸潤と膵島炎症が2型糖尿病における β 細胞機能障害に重要な役割を果たす 15:55 ~ 16:15

江口 航生 (東京大学大学院・医学系研究科)

IL-33 is a crucial amplifier of innate rather than acquired immunity 16:15 ~ 16:35

大保木 啓介 (国立成育医療センター・研究所)

高IgE症候群における抑制性樹状細胞および誘導性制御性T細胞(iTreg)の分化障害 16:35 ~ 16:55

齋藤 雅子 (東京医科歯科大学大学院)

IL-22は気道上皮細胞におけるIL-25産生を抑制し、抗原誘発性好酸球性気道炎症を制御する 16:55 ~ 17:15

高橋 健太郎 (千葉大学大学院・医学研究院)

アレルギー応答を負に制御する抑制性受容体Allergin-1の発見 17:15 ~ 17:35

人見 香織 (筑波大学大学院・人間総合科学研究科)

STAT6によって誘導されるポリコームとトライソラックスの置換反応 17:35 ~ 17:55

小野寺 淳 (千葉大学大学院・医学研究院)

東京免疫フォーラム研究奨励賞 表彰 17:55 ~ 18:00

< 懇 親 会 (演題終了後 於 生協食堂) > フォーラムへの参加費は無料、懇親会参加費は千円(学生無料)です。事前登録の必要はありません。

